



水・緑・空
笑顔かがやく
ふれあいのまち

YOSANO

広報よさの

No.131

1
2017

今月の表紙

フードコラボラボ - 農商ビジネスフェア・商談会 -
(12月13日撮影)

●主な記事

- 02 町長・議長新年あいさつ
- 04 特集 新春町長インタビュー
- 05 第5回 与謝蕪村顕彰与謝野町俳句大会
- 20 よさのワーキングステイトリアル



信頼される議会へ

明けましておめでとうございます。町民の皆様には、ご家族お揃いで健やかに新しい年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

新しい年が皆様にとりまして、素晴らしい年となりますよう、心からご祈念申し上げます。

昨年は、リオオリンピック、パラリンピックで日本選手の活躍により多くの感動を与えられた年でした。町では合併10周年記念式典で10年を振り返りながら新しい町づくりへの決意をいたしました。春には全国椿サミットと謝野大会、秋には与謝蕪村生誕300周年記念第5回与謝蕪村顕彰俳句大会が全国から関係者、愛好家を迎えて盛大に開催されました。

与謝野町議会議長

はたし せ勢 ざと 勢 ざと 勢

昨年、秋に5回目の議会懇談会を12地区で開催いたしました。区長さんや役員さんには大変お世話になりました。参加いただいた皆様からは、貴重なご意見を頂戴し、今後の活動の中で活か

ていかなければと決意を新たにしています。今年度は更に開催方法を工夫して、議会懇談会にしたいと思っています。この議会懇談会の中では、加悦谷高校の再編についてのご意見もありました。京都府教育委員会に対して、慎重な、地元の意見を汲み上げた再編になるようにとの意見書をあげておりますが、更に町の将来に高校は必要であるとの立場から、議会活動の中でしっかりと負担に応える研究をする必要があります。

昨年も、熊本地震、鳥取県中部地震をはじめ多くの災害が各地を襲いました。議会も、一昨年から災害に対応した組織づくりをすすめ、町の防災訓練に参加しています。昨年は防災服を議員それぞれ自前で新調させていただきました。今年もこのような組織が活躍することのないよう平穏な年であって欲しいと願っています。

早いもので、私たちの任期も一年余りとなりました。この間に町の方向である総合戦略を確固とした路線にのせること、全国的に地方議会の代議制が、曲がり角にきているとの危機感

から、全国町村議会議長会でも、もっと多くの意欲ある候補者が、出やすいような代議制に向けて、特別決議がされるような事態になつてきています。次の予定を考えておられる方の手本になるような議会活動につないでいく必要があります。

最後になりましたが、新しい年が、災害のない穏やかな年でありますようご祈念申し上げますと共に、今年も一層のご支援をお願い申し上げます、新年のあいさついたします。



議会懇談会の様子

笑顔かがやくまちへ

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ご家族おそろいで輝かしい新春をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

私も家族とともに新たな気持ちで新年を迎えました。就任当初に抱いた初心を忘れることなく、「新たな与謝野町を築く」という決意を胸に刻み、全身全霊で町政を推進して参りますので、ご指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本年も、与謝野町町民憲章に掲げであるまちの理想像を実現するために、「みんなの知恵と技術で、新しい価値を生むまちづくり」を積極的に進めていきます。特に、就任以来、一貫



与謝野町長

やまぞえ とうま 山添 藤真

の最上位に位置づけられ、本町における総合的かつ計画的な行政運営を図るために策定された第1次与謝野町総合計画が最終年度を迎えます。それは、新町発足後のまちづくりにおいて、重要な役割を果たしてきた本計画の検証を行いながら、未来を見据えて新しい将来像を描く必要があることを意味しています。

私はそのことを好機として捉えています。合併後10年が経過した今、住民の皆さんとともに過去を振り返り、現状を理解し、未来を構想することは大変意義のあることです。したがって、平成29年を、私たちがまちの将来像として共有してきた「水・緑・空 笑顔かがやく ふれあいのまち」の総仕上げとして、

笑顔の輪を広げるとともに、次の10年や未来に向けたまちづくりをスタートさせる年といたします。

世界に目を転じてみますと、昨年は英国のEU離脱や新米大統領にトランプ氏が選出されたこと等、これまで各国が連携しながら取り組んできた事柄について、今一度考えさせられる出来事が多々起こりました。日本国内では、東日本大震災や熊本地震からの復興復旧をはじめとする社会的な課題が山積しています。

そして、本町においても、昨年の国勢調査の結果によると5年前と比較しても1620人の減少で、全人口が2万1834人となりました。人口減少を前提とした地域社会のあり方を真剣に模索し実践しなければならぬ状況です。行政サービスの見直しや公共施設の統廃合などの行政改革を実行に移す必要があると同時に、次の世代が本町で夢や希望を抱くことができるように積極的な政策の展開をしなければなりません。

そのような中、私たちはその困難な時代とともに立ち上がる



いでしょうか。新たな思考と行動をもって、対応する勇氣を持ちたいと思います。

愛するふるさと・与謝野町がいつまでも美しい自然環境のもと、独自の文化や産業を育み、そこで暮らす人々が心豊かで幸せあふれるまちであるように、今を生きる私たち一人ひとりが責任を果たしていきましょう。

最後になりましたが、本年が皆様にとって素晴らしい年であり、心からお祈り申し上げます、年頭に当たってのあいさついたします。

第5回 与謝蕪村顕彰与謝野町俳句大会

特集

新春町長インタビュー

3年目を振り返り まちづくりを語る。

「新年明けましておめでとう」がいま
す。まずは町民の皆様へ一言お願い
いたします。

住民の皆様方、新年明けましておめ
でとうございます。ご家族おそろいで
輝かしい新春をお迎えになられたこと
を心より喜び申し上げます。皆様方
の笑顔の輪がさらに広がるよう、全力
で頑張つて参りたいと思っております。本
年度もよろしくお願いたします。

「昨年を振り返って、2016年はど
のような年だったでしょうか。」

与謝野町政が誕生してちょうど10年
を迎える年でありましたので、過去を
振り返るとともに、未来を考えていく
1年だったと思います。皆様におかれ
ましては、それぞれの立場の中で町政
の推進にご協力をいただき、旧三町間
の一体感が非常に強くなってきた1年
で、皆様方と今後の与謝野町を考えて
いく年であったように思います。そ
して、社会全体に目を向けるとEU

離脱、アメリカ大統領選挙の結果など、
社会全体においても変革の時期であり、
我々がいかにか生きていくのかを改めて
考える年であったようにも思います。

「昨年は10周年記念式典があり、今年
は合併10周年を記念して開催される郷
土芸能祭がありますが、芸能祭につい
てお聞かせください。」

与謝野町合併10周年の有終の美を飾
りたいと3月19日に開催いたします。
これまで各地域が大切に育んできた郷
土のお祭りを披露し合うことで、各地
域の特性や独自性を確認し合うことと
に、私たちが「何が、どのように」結
びつけているのかを改めて考える機会
になると考えています。そのため、郷
土芸能祭を基軸として、与謝野町全体
にさらなる一体感の輪を広げていき
たいと思っています。

「山添町長は、年次スローガンを毎年
設けられており、平成26年度は「可能
性を模索する年」、平成27年度は「う

ねりを生み出す年」、そして平成28年
度は「行動を起こす年」とされてき
ました。平成29年度は「楽しみを生
む年」ですが、このスローガンのコ
ンセプトについてお聞かせください。

これまでまちづくりを進めるにあ
たり、多く施策や事業をおこなって
きましたが、これは種を蒔き、大切
に育ててきた時期だったといえます。
平成29年度は、これらの施策を中心
に据えて、住民の皆様へ「本当に楽
しい」と感じていただき、町の将来
像である「水・緑・空 笑顔かがや
く ふれあいのまち」の笑顔の輪の
広がりを大きなものにしたと思っ
ています。今年も様々な施策を打ち
出していきますが、本町としても「住
民の皆様と共に、楽しい時間をご一
緒させていただく」思いのもと進め
させていくことで、将来への希望を
掴み取り、楽しみを生むものと思っ
ています。

「平成29年度は、第1次与謝野町総
合計画後期基本計画の最終年度にな
りますが、第2次総合計画について
お聞かせください。また、第2次与
謝野町行政改革大綱の実行について
もお聞かせください。」

平成29年度末をもって第1次与謝
野町総合計画が満了することになり

ます。総合計画というのはまちづく
りの最上位の計画であり、これまで
の10年間というのは第1次総合計画
に基づいて計られてきました。法律
改正により総合計画を策定しなくて
もよくなりましたが、本町としては、
これからのまちづくりを進めるにあ
たり総合計画の策定は重要なもので
あると考え、第2次総合計画では、今
後の10年間を見据えて、未来から現
在をみる「未来思考（フューチャー・
デザイン）」で、与謝野町が進む方向
性について皆様と議論しながら策定
していくこととしています。

また第2次与謝野町行政改革大綱
についてですが、これまでも繰り返
し述べさせていただいておりますが、
与謝野町の財政状況は大変厳しいな
かにあります。しかし、住民の皆様
の要望にも応えていきながら、将来
持続可能な町を考えた時に、公共料
金の改正や公共施設の統廃合・再編
などは、非常に厳しい取り組みです
が、皆様のご意見とのバランスを取
りながら進めていきたいと考えてい
ます。皆様のご理解とご協力をお願
いたします。

※本記事は、KYT番組「ようこそ町長室」をもとに編集しています。

与謝野町俳句大会が 開催されました

11月27日、5回目となる与謝蕪村顕
彰与謝野町俳句大会が知遊館で開催さ
れました。本年は蕪村生誕300年にな
る年であり、会場には町内外から約
200人の方が来場されました。

大会は、当日投句から始まり、事前
投句の表彰式では自由題の部8句、前
書俳句の部5句が表彰され、読み上げ
られるすばらしい句を皆さん聞き入り
ました。次に、平成Buson俳句大
賞に選ばれた小中高生の9句が表彰さ
れ、受賞した小中高生は自分の俳句を
読み上げて披露し、その後、南うみを
氏の講評が行われました。

続いて、山田佳乃氏、茨木和生氏、
大石悦子氏による事前投句入賞作品の
講評が行われました。来場者は「蕪村
に続け」とばかりに熱心にメモを取り、
今後の句作に
活かそうとす
る姿が印象的
でした。

※事前投句・
平成Buson
俳句大賞入
賞作品は「広
報よさの12月
号」で紹介し
ています。



講評を聞く平成Buson
俳句大賞入賞者の皆さん



右/ 事前投句前書俳句の部「与謝野町俳句大賞」を受賞された西史紀さん
左/ 「平成Buson大賞」を受賞された矢谷柚華さん

与謝蕪村顕彰プログラム 座談会 蕪村生誕300年

午後からは選者の山田佳乃氏、茨木
和生氏、大石悦子氏と蕪村に造詣が深
い国文学者の藤田真一氏（関西大学教
授）による、与謝蕪村を語るトークセッ
ションが行われました。

藤田氏が蕪村俳句の特徴や俳句界へ
の影響を紹介し、選者の三氏がそれぞ
れの作品への影響をはじめ、蕪村に対
する思いや考えをユーモアあふれる話
で紹介する、含蓄と笑いに富んだ座談
会となりました。来場者は蕪村の奥深
さを改めて知る機会になりました。



右/ 当日投句で「与謝野町俳句大賞」を受賞さ
れた奥野温子さん

下/ 当日投句入賞者の皆さん



95句の当日投句

事前投句表彰式の前には、当日投句
の受付を行い、95句（一人一句）のこ
応募をいただきました。

当日投句参加者による互選得点と当
日投句選者選得点を合算した最高賞
「与謝野町俳句大賞」と、7名の選者
が選考された一句ずつを選者特選賞と
して決定し、表彰もされました。
皆様おめでとうございます。

●与謝野町俳句大賞

豆を打ち己が影打つ母在りき

奥野 温子（京丹後市）

●山田佳乃特選賞

絹糸を弾いてつかふ時雨るる日

武村 美知子（京丹後市）

●茨木和生特選賞

わらべ唄ころころ木の實際る故郷

今井 文雄（大阪市）

●大石悦子特選賞

菰を巻く松の丹田締めあげて

大槻 美千江（舞鶴市）

●岩城久治特選賞

漉きあげて式部好みの和紙となり

原田 雅子（舞鶴市）

●南うみを特選賞

さりげなくしつこく秋の蚊の寄り来

宮川 洋子（与謝野町）

●横岡たかを特選賞

紋紙に蕪村の句あり片時雨

嵯峨根 恭子（舞鶴市）

●福井久生特選賞

不揃ひの野菜もらひて野分晴

大江 清子（与謝野町）

◇症状
家事の質が低下した、全身を使つての動き（歩く、立ち上がり、階段を上るなど）がやりづらくなったり疲れやすくなった、近所にも出かけて行かなくなつ

◇きっかけは
家族の介護が始まり外出ができなくなつた、本人ができることを周りがやってあげている（家事、買い物、畑仕事など）、家の中や庭が散乱して歩くのが危ない、一緒に出かける友人がいなくなつたなどちょっとしたことがきっかけになります。

◇生活不活発病とは
文字の示すように『生活』が『不活発』になるために、全身の機能が低下して、虚弱や寝たきりにつながる怖い病気です。以前はしていた生活行動をしなくなると少しずつ動きづらさを感じようになり、さらに活動が低下し体がますます衰える、そんな悪循環が起るのです。大震災の後、避難所生活や仮設住宅で暮らす高齢者に多くみられたことで注目されました。



◇改善策
気になる様子が見られたら、本人の努力にまかせられるのではなく、家族や周囲の方も一緒に工夫・支援が必要になります。一日の暮らし方を活性化させることが必要です。体操、運動をするだけでは、特定の時間だけの対応になり不十分なのです。「楽しく、やりがいのある活動を増やす」ように興味のあることなどから工夫しましょう。
▼家族と一緒に花を育て庭仕事につなげる。
▼孫の運動会に誘い、一緒に行くことで出かける機会にする。

◇日常生活にやる気を出すためのポイント
■ テーブル、床、台所などになるべく物を「置かない・敷かない、積み上げない」
床に物が置いてあると危険がともない移動する意欲がなくなつたり、掃除をする意欲がなくなりやすくなります。
■ 上は目線の位置、下は腰の位置



◇予防する方法
▼ 毎日の生活の中で活発に動くようにしましょう。
▼ 家庭、地域、社会で、楽しみや役割をもちましましょう。（遠慮せずに、気分転換を兼ねて散歩やスポーツや趣味も）
▼ 歩きにくくなつても、杖やシルバークーなどの工夫を。
▼ 身の回りのことや家事などがやりにくくなつたら、早めに対策や相談を。
▼ 「無理は禁物」「安静第一」と思い込まず、少しずつ動くように。（病気の時は、主治医と相談しながら活動しましょう）
以上のように、家族や周囲の方も一緒に工夫をしましょう。

◇置までに、毎日使うものを収納できるように
特に、料理に使うものを収納することで、無理に手を伸ばさず腰をかがめる動作をしなくて良いので、料理など家事が長く続けられるようになります。
■ 各地域で実施されているサロン、老人会、趣味の会など自分に合ったところに参加する
保健課主催の「ふれあい元気づくりの日」は、毎月1回、岩滝保健センター、野田川わくわくばる、元気館を会場に午前中に実施しており、誰が参加してもよい気楽な集まりです。保健師の健康相談やミニ講話、レクリエーションを実施しております。是非、ご利用ください。



与謝野町消防団長
うえだ やすし
植田 泰史

「火事を出さない、出させない」をスローガンに火災予防に務めます

明けましておめでとうございます。新年をご家族お揃いで健やかに迎えにられましたこと心からお喜び申し上げます。
町民の皆様には、日頃から消防団活動に、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
与謝野町誕生以来、「火災ゼロの町・与謝野町」を目指して消防団活動を実施して参りましたが、昨年の火災発生件数は、一昨年より7件減り4件となりました。火災の原因は多様化しておりますが、一人ひとりが注意して火を取り扱っていれば出火を防ぐことが出来たものがそのほとんどでありました。消防団では引き続き「火事を出さない、出させない」をスローガンに防火意識の高揚を図るため、より一層の予防活動に努めて参る所存でございます。
さて、昨年は操法年でもあり、6月に町消防操法大会を開催し、8月の京都府消防操法大会においては小

型動力ポンプ操法の部において岩滝第1・第2分団が見事優勝を勝ち取り、与謝野町代表としてその大きな使命を果たしてくれました。その節には町民の皆様にも多くの激励と温かいご支援、ご協力をいただきましたことに改めて厚くお礼申し上げます。また、11月には予防消防の取り組みとして「防火パレード」を開催し、町民の皆様にも火災予防を呼びかけました。いずれの取り組みにおいても連日の訓練、準備を経て、団員一丸となつて日頃の成果を遺憾なく発揮してくれたと振り返っております。また、自然災害では、4月に熊本地震、10月には鳥取県中部地震が発生したほか、8月には観測史上初めて東北地方の太平洋側に上陸した台風10号が猛威を振るい、各地で大きな被害が発生しました。
本町では、幸いにも大規模な災害は発生いたしておりませんが、自然災害はいつでもどこで起きてもおかし

ない状況となっております。町民の皆様におかれましても日頃から災害に対する意識を高めていただくと共に、十分な備えをお願いしたいと存じます。
我々消防団は、日夜、消防防災の要として活動しているところですが、社会が大きく変化していく中、自営業の団員が減る一方、会社勤めの団員がその大半を占め、新入団員や昼間の火災等に出勤する団員の確保が難しくなっており、消防団を取り巻く社会的環境は大変厳しい状況にあります。しかしながら、近年の災害発生現場において、多数の消防団員が目ざましい活躍をし、その重要性が改めて認識されているのも事実です。
本年も消防力の確保とともに、町民の皆様のご生命と財産を守り「自分たちの町は自分たちで守る」という消防精神のもと、団員一丸となつて更なる努力と精進をして参る所存であります。
町民の皆様のお一層のご理解とご協力をいただきますよう重ねてお願い申し上げます。
結びにあたり、町民の皆様のご健勝とご多幸、本年が災害のない平穏な年でありますよう心からご祈念申し上げます。新年のあいさつといたしま

求む！消防団員



消防団では、女性団員も募集しています。地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わず、地域に密着し町民の安全と安心を守る重要な役割です。
月に一度の定例会で活動内容を決め、音声告知放送、防火教室、救命講習、車両広報など、火災の予防啓発を中心に活動しています。興味のある方、一緒にやってみようと思われる方は、防災安全課（☎43-9011）までご連絡ください。

平成28年度全国統一防火標語「消しましょう その火その時 その場所で」

こんにちは！ミシェルです。今回はアメリカの「Holiday Season (ホリデーシーズン)」について紹介します。直訳すると「休暇の季節」であり、アメリカでは11月の第4木曜日の「感謝祭」から元日までのたくさん祝日がある時期を指します。祝日には「感謝祭」、「クリスマス」、ユダヤ教のお祭りである「ハヌカ」、アフリカ系アメリカ人のお祭りである「クワンザ」など色々な文化、民族、宗教のお祭りがあり、地域によっては10月31日の「ハロウィン」と1月6日の「エピファニー」(キリスト教のお祭り)も含めます。アメリカ人の多くは、この時期は家族と過ごす特別な時期と考えており、離れて暮らしている家族も帰省したり、一緒に旅行に行ったりします。ホリデーシーズンの中で最も大きな祝日はクリスマスです。アメリカでは11月からクリスマスの飾り付けを街中で見ることが出来ます。クリスマスをお祝いする伝統的な方法は12月25日の朝はお互いに贈りあったプレゼントを開封し、親戚で集まって盛大な食事をします。しかし、私の家族はクリスマスを伝統的な方法では祝いませんでした。私の父は仕事で長い期間家を空けることがあり、クリスマスに帰省できないことがありました。そこで、私の家



子どものころのクリスマスの記念写真です(左から2番目が筆者)

では父が帰って来たときにクリスマスを祝う「私たち家族のクリスマスの伝統」を作りました。クリスマスと決めた日の朝、母は「キッシュ」というhamや野菜、チーズの入ったパイを作り、父は「クリスマス物語」という本を私たちに読んでくれました。それから、しばらくすると親戚が家に来て一緒にパン、チーズ、七面鳥などで簡単な食事をしました。私は家族と一緒に過ごす時間を楽しみたかったので、伝統的な盛大な食事会よりこのような簡単な食事会の方が好きでした。このように、私の家族は時期をずらしてクリスマスを祝うため、私の家族にとってホリデーシーズンはとてもゆっくり過ごすことができる時期でした。ホリデーシーズンは「Season of Giving (与える季節)」としても知られており、募金や寄付などのチャリティ活動を実施する人が多くいます。私の家族も、お金に困っている家庭の子ども達におもちゃをプレゼントしたり、食べる物が無い人に食事を提供したりします。アメリカでは皆クリスマスを自分たちの方法で祝います。クリスマスキャロルを教会で歌う人や、お金に困っている人のために活動する人など、どのような過ごし方でもアメリカ人にとってホリデーシーズンは1年の中で特別なときです。

公民館訪問 [第41回 与謝地区公民館]

その後、地元の児童によるお茶席を設け、ご作法を習った児童から参加者の方々にお茶を提供



住職のお話



お茶席体験

大きなテーマに聞いています。今年6月には「金剛寺の歴史を聞く会」と題した講座に60名の参加を頂き、住職よりお寺の歴史を中心に与謝区のご先祖からの継承など尊

り組みをしていきたいと思います。区民の集いは幅広い世代の方々が参加していただき大きなテーマである世代間交流ができる大変大事な事業と考えております。これからも公民館が区のコミュニティの場として発展できるように区民の皆様喜んで頂ける取り組みをしていきたいと思います。



映画会



憩いカフェ

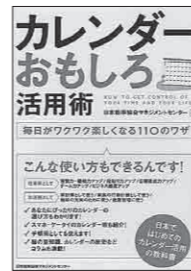
与謝地区公民館は様々な方が集い、ふれあい、交流の場とされており毎月の主な活動といたしましては生け花や健康体操教室、ふれあいサロン、そして今年から大正琴の活動も実施されています。その他に年間の事業といたしまして公民館美化活動やクリスマス会、組対抗グラウンドゴルフ大会など様々に取り組んでいます。事業の中で意識をしていることは子どもからお年寄りの方まで誰もが集まれる場を作ること。特に「世代間交流」を大きなテーマに聞いています。今年6月には「金剛寺の歴史を聞く会」と題した講座に60名の参加を頂き、住職よりお寺の歴史を中心に与謝区のご先祖からの継承など尊

図書館へ行こう！

暦を意識してみませんか

新しい年の幕開けとともにカレンダーや手帳を新しくされる方も多いでしょう。これからの一年を最も意識するこの時期、「暦」に関してお勧めの本をご紹介します。

『カレンダー-おもしろ活用術毎日ワクワク楽しくなる110のワザ』



日本能率協会マネジメントセンター

きっとどのお宅にも一つはあるカレンダー。ただ日付を確認するだけではもったいない。あなたにぴったりのカレンダーを選んで、仕事や日々の暮らしのスケジュール管理のほか、家計簿や日記などいろいろな活用ができます。パソコンや携帯で使えるインターネットでのカレンダーの使い方紹介。

『カレンダーから世界を見る』

中牧弘允/白水社

普段私たちが使っているカレンダーは西暦といわれるものですが、これ以外にも世界にはその文化や宗教に根ざした暦があり、月の満ち欠けや日の吉凶など日付だけではないものもあります。この本では、そんな違いに注目して、日本や世界の文化を考えた1冊です。



『カエサルさんとカレンダー 2月はどうしてみじかいの?』

いけがみしゅんいち、せきぐちよしみ/福音館書店

カレンダーを見ていたゆうかちゃんは、「どうして2月だけ短いのか、月によって日が違うのか」を疑問に思います。そこに、カレンダーの中から現れたのは、カエサルという不思議な服を着た人でした。カレンダーの秘密を教えてくださいという彼の話を、ゆうかちゃんと一緒に聞いてみましょう。



『こよみともだち』

わたりむつこ、ましませつこ/福音館書店

とあるところに、こよみのいえが、一軒ずつ12軒ありました。年の初めの1月さんが、「ひとりぼっちじゃつまらない」と、隣の2月さんのところへ行きます。雪合戦で友達になった1月さんと2月さんは、次に3月さんへ...最後の12月さんのところまで行った後には楽しい仕掛けがある絵本です。



Info 図書館おはなし会

[本館]	2月4日(土)	午後3時~
[加悦]	1月14日(土)	午前10時30分~
[野田川]	1月21日(土)	午前10時30分~

(紙芝居の日)

江山文庫読書会
与謝野晶子の童話を読む
第57回「解らないこと」

1月27日(金) ※毎月第4金曜日
午後1時30分~3時
お問い合せ先 江山文庫 ☎43-2180

今月の新着図書

一般書 ●『フューチャー・デザイン 七世代先を見据えた社会』西條辰義編/勁草書房 ●『一汁一菜でよいという提案』土井善晴/グラフィック社 ●『天子蒙塵 第1巻』浅田次郎/講談社 ●『空への助走 福蜂工業高校運動部』壁井ユカコ/集英社 ●『恋のゴンドラ』東野圭吾/実業之日本社 児童書 ●『十二支のおもちつき』すとうあさえ/童心社 ●『またまたタヌキ』内田麟太郎/佼成出版社 ●『こどもノーベル賞新聞 どこから読んでも面白い』若林文高/世界文化社 ●『図書館の日曜日 遠足はことわざの国』村上しいこ/講談社 ●『ハリー・ポッターと呪いの子 第一部・第二部』J. K. ローリング/静山社

蔵書点検のための臨時休館のお知らせ

図書館(全館)は蔵書点検のため、下記のとおり臨時休館します。休館中はご不便をおかけしますが、ご理解ご協力の程よろしくおねがいします。

【休館期間】

- 加悦分室、野田川分室 2月7日(火)~10日(金)
- 本館 2月15日(水)~17日(金)

●問い合わせ先/与謝野町立図書館 ☎46-2451 加悦分室 ☎43-0376 野田川分室 ☎43-0087
●開館時間/午前10時~午後6時 ●休館日/毎週月曜(本館・加悦分室)、毎週火曜(野田川分室)、毎月最終木曜(共通)

ご寄付いただきありがとうございます

12月1日に、旧淡竹会代表者の佐野靖壽様よりグラウンドゴルフセットを寄付して頂きました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。





「人権週間」街頭啓発をおこないました

☎ 住民環境課 ☎ 43-9030



人権啓発活動の様子

国際連合は1948年12月10日に世界における自由、正義および平和の基礎である基本的人権を確保するため、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として、世界人権宣言を採択し、1950年12月10日を「人権デー」と定めました。日本ではこの日を記念して毎年12月4日から10日までを「人権週間」と定め、期間中、各関係機関や団体と協力し合い、人権尊重思想の普及と高揚を図るため、様々な活動を行っています。与謝野町では12月6日にフレッシュバザール野田川店において人権街頭啓発を行いました。この週間や人権の大切さを広く地域の方々に知っていただくため、買い物へ訪れる方々に人権の尊重を呼びかけました。



「障害者週間」街頭啓発をおこないました

☎ 福祉課 ☎ 43-9021



障害者週間啓発活動の様子

毎年12月3日から12月9日までの1週間は、国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として、「障害者週間」が設定されています。この「障害者週間」を知ってもらおうと、12月7日に与謝郡の障害者福祉会を中心に関係者による街頭啓発活動が、役場本庁舎、スーパーにしがき岩滝店やファミリースーパーフクヤ男山店の店頭ならびに周辺で、障害者の方が作られた布巾やクリップなどを配布し、地域の方々に障害者の社会参画や活動を知っていただく啓発を行いました。

11月入札結果

☎ 総務課 ☎ 43-9010

入札日	工事名	場所	業者数	落札業者名	予定価格 (千円/税抜)	最低制限 価格 (千円/税抜)	落札金額 (千円/税抜)	落札率 (%)	工事期間
11/21	与謝野町消防団加悦第3分団車庫詰所造成工事	温江	5者	株式会社建設	18,428	16,162	16,162	87.7	H28/12/1 ~H29/3/31
11/21	南堂谷線道路新設工事	石川	11者	京栄開発(株)	12,765	11,142	11,142	87.2	H28/11/29 ~H29/3/31
11/21	野田川本線側溝改良(その6)工事	三河内	15者	有限柳水道	4,189	3,642	3,642	86.9	H28/12/1 ~H29/3/31
11/21	四辻中縄線側溝整備工事	上山田	13者	有限柳水道	2,092	1,817	1,817	86.8	H28/12/1 ~H29/1/31
11/21	温江明石線側溝整備工事	明石	7者	株式会社井田建設	1,728	1,500	1,500	86.8	H28/11/26 ~H28/12/28
11/21	山手線側溝修繕工事	弓木	8者	安田産業(株)	1,642	1,426	1,426	86.8	H28/12/2 ~H29/1/20
11/21	防犯灯LED化工事(北部地域)	石川他	3者	上田電気設備	2,281	2,024	2,109	92.4	H28/11/29 ~H29/2/28
11/21	防犯灯LED化工事(南部地域)	与謝他	3者	矢野電器(株)	2,217	1,967	2,059	92.8	H28/11/29 ~H29/2/28
11/21	山手線、一色通線道路照明修繕工事	岩滝	3者	上田電気設備	2,049	1,763	1,895	92.4	H28/11/29 ~H29/2/28
11/21	寺田線(1工区)舗装修繕(その3)工事	算所	4者	浅巻建設(株)	11,416	9,943	9,943	87.1	H28/11/30 ~H29/3/15
11/21	山手線物件補償算定業務委託	弓木	8者	キタイ設計(株)京都支社	1,129	-	1,000	88.5	H28/12/1 ~H29/1/27

まちの話題をお届けします

●着付教室(初心者講座)

和装を身近なものへ

一人できものを着られるようになることを目的として、9月24日から8回にわたり、与謝野町染色センターで着付教室を開催しました。

本講座では、和装総合学院から講師をお迎えし、延べ67人が参加をしました。前半には着物着上げ・袋帯二重太鼓といった基礎を、後半に名古屋太鼓・変わり結びといった帯結びの応用を学ばれました。参加者の方々は回を重ねるごとに上達され、最終日には一人でとても綺麗に着付けをされていました。



着付けをされた受講生と講師の皆さん

●与謝野みらい町民大学(仮称) トライアル事業(第2弾)

与謝野町への理解を掘り下げる

12月17日、「与謝野みらい町民大学(仮称)」のトライアル事業(第2弾)が行われました。第2弾では、与謝野町の経済発展の歴史を知り、与謝野町への理解を深める目的で、与謝野町観光協会(旧加悦庁舎)をスタート地点に、まち歩きでは青木順一さんから、ちりめん街道の歴史と成り立ち、城下町としての秘密が紹介され、旧尾藤家住宅での座学では三田智子さんから与謝野町のまちづくりの原点として尾藤家の功績が紹介されました。参加者は与謝野町への理解と愛着を深めている様子でした。



ちりめん街道を歩きながら与謝野町の秘密を知る

●宮津与謝環境組合

新広域ごみ処理施設起工式

宮津与謝環境組合が進める新広域ごみ処理施設の造成工事が、11月末に完了し、いよいよ新施設の本体工事が始まります。

12月5日、工事の無事完成を願って、同組合と工事関係者による地鎮祭と起工式が挙行されました。地鎮祭では、鍛入れ式を同組合管理者の井上正嗣市長(宮津市)、副管理者の吉本秀樹町長(伊根町)、山添町長が行い、工事の安全を祈りました。

新施設は、平成31年7月末に完成する予定です。



宮津与謝環境組合を構成する1市2町の首長による鍛入れ式

●京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会

食を通してビジネスパートナー探し

12月13日、「こだわりのある生産者×挑戦する事業者」をコンセプトに、5市2町で丹精込めて育て上げられたこだわりの作物や加工品を、最大限に活かすことができる事業者の出会いの「場」(農商ビジネスフェア・商談会)として、フードコラボラボが開催されました。

参加者より持ち寄られた生産物等を使い華やかに彩られた山与醤油倉庫(岩滝)で、それらの食材を使った料理を試食しながら会話を弾ませ、参加者は新たな取引先や新商品開発のヒントを得ていました。



会場で名刺交換をする参加者

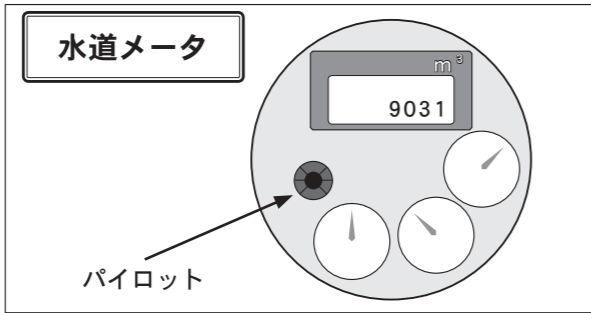


水漏れの確認方法について

☎ 上下水道課 ☎ 43-9031

水漏れ修理はJUPITERの？

個人の敷地内の水漏れ修理は、与謝野町指定給水装置工事業者に依頼してください。水道メーターまでの水漏れであっても敷地内であれば使用者または所有者の負担で修理しなければなりません。



水漏れの確認方法

急に水道使用料が増えたようなときは、まず家中の蛇口を全部締めて、水道メーターのパイロットが回っていたら、水漏れの可能性があります。

減免はどんな場合に対象になるの？

減免は給水設備を適正に管理していたにもかかわらず、水道管の破裂など不可抗力により漏水していたと認められる場合で、かつ町指定給水装置工事業者修理・証明済みの減免の対象となります。

申請の手続きはJUPITERの？

減免申請書（水道用および下水道用の2種類）の用紙に記入し、与謝野町指定給水工事業者に修理済みの証明をもらったうえで、修理前および修理完了後の写真を添付して上下水道課に提出してください。

どれだけ減免されるの？

減免は、漏水していたと思われる月の水量から漏水していなかったと思われる水量を差し引いた漏水水量の1/2が軽減され、最大3カ月が対象となります。

その軽減された水量を基に使用料を計算しなおした金額との差額となります。 ※漏水していなかったと思われ

申請する際の提出書類

- ① 減免申請書（与謝野町指定給水工事業者が修理した証明のあるもの）
- ② 状況写真（修理前および修理完了後）を修理完了後速やかに上下水道課まで提出してください。



平成29年産「京の豆っこ米」栽培計画書の提出について

☎ 農林課 ☎ 43-9023



平成29年産京の豆っこ米の栽培を予定されている方は、「栽培計画書」を提出してください。家庭菜園に使うなど、個人的に使われる方については年間100kgを上回らせないでください。（その場合、計画書の提出は必要ありません）

■対象者 京の豆っこ米栽培者、流通野菜に豆っこ肥料を使用される方

■提出先 与謝野町役場農林課もしくは各庁舎住民環境課住民係

■提出期限 1月20日（金）



阿蘇海のクロクチ貝の水揚げ量について

☎ 農林課 ☎ 43-9023

阿蘇海産のクロクチ貝は幻の貝と言われ、地元民や観光客に親しまれてきました。しかし、近年の阿蘇海域の変化などにより、現在では水揚げ量が激減する事態が発生しております。

平成27年度、当町が実施したクロクチ貝の現状調査によると、平成23年度245kgあった阿蘇海産のクロクチ貝の水揚げ量は翌年からゼロとなつています。漁獲量が激減した要因は諸説ありますが、阿蘇海では、富栄養化が原因でプランクトンが大量発生し、海中が低酸素状態となり周囲の魚や貝が死滅する状況であることに加え、ヘドロが多く堆積する場所では無酸素層が存在し、生物が生きられない環境となつていくことが大きな要因であるとされています。

クロクチ貝（オノカガ）写真 京都府立海洋センターHPより



にはクロクチ貝のみならず、ハマグリ、金樽イワシ、ウナギなどの豊富な水産資源があるので、このような資源を次世代に残すためにも、川上から川下まで一貫した阿蘇海浄化の取り組みが必要です。

そのためにも、阿蘇海がもたらす恵みや景観の活用を通じて環境保全意識を高め、一人ひとりが環境に優しい取り組みを実践して、その実現を目指していかねばなりません。一人ひとりが、この現状を認識し、環境保全へのご協力をお願いいたします。



国内での鳥インフルエンザの発生を受けて

☎ 農林課 ☎ 43-9023

- ① 死亡または衰弱した野鳥並びにその排泄物には素手で触らないでください。また、動物についても、鳥インフルエンザで死亡または衰弱した野鳥を捕食し感染する可能性がありますので、素手で触らないでください。
- ② もしも死亡または衰弱した野鳥並びにその排泄物等に触れた場合は、手洗いやうがいをしてください。
- ③ 死亡または衰弱した野鳥や異常な鳥を見つけたときは、役場または京都府に連絡

連絡先

- ▼与謝野町役場農林課 ☎ 43-9023
- ▼丹後広域振興局農林商工部森林づくり推進室 ☎ 0772-62-4307

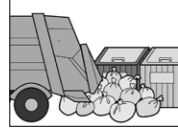
時間外・休日の連絡先

▽本庁 ☎ 43-9000、▽加悦庁舎 ☎ 43-9001、▽野田川庁舎 ☎ 43-9002

鳥インフルエンザウイルスは、感染した鳥との濃厚な接触等の特殊な場合を除き、通常では人には感染しないと考えられています。が、市民の皆様には次のことをお願いいたします。

※異常な鳥：首を傾けてふらついたり、首をのけぞらせて立っていらなくなるといった神経症状、重度の結膜炎等を発症している鳥

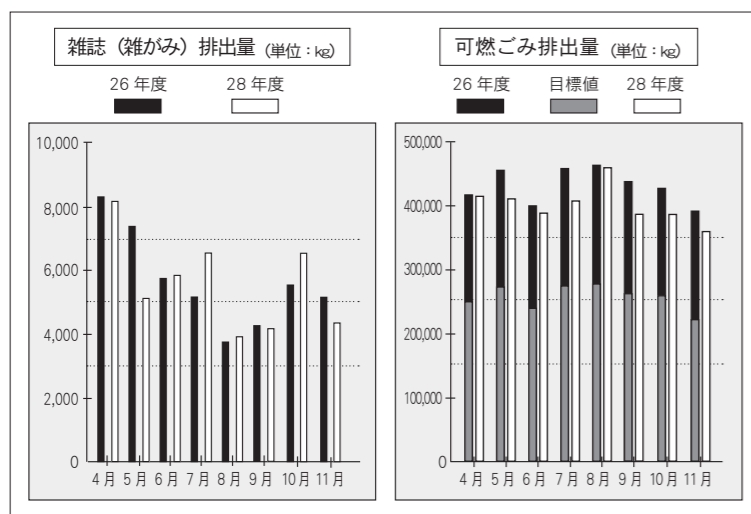
今後とも正確な情報提供に努めますので、根拠のない噂などにより混乱することがないように御協力をお願いします。



11月の可燃ごみ・雑誌（雑がみ）排出量の報告

シリーズ①7 ごみについて考える

☎ 住民環境課 ☎ 43-9030



「ごみ量」の比較

平成28年11月の可燃ごみ・雑誌（雑がみ）の排出量を、減量の比較対象である平成26年度と比べて報告します。可燃ごみは、今月は約6%減量と、先月に比べ減量率は下がりました。4月からの通算では約6.4%減量と、ほぼ変化はないうままで

す。今年度に入ってから毎月一定の減量効果が見られ、取り組みの効果は表れているのではないかと考えられます。一方の雑誌（雑がみ）は、今月は減少していません。可燃ごみの約半分を占める紙類を雑がみとして分別することによって減量に繋がります。更なるご協力を

知遊館からお知らせ

デジタル・フォトクラブ ナウ展

2/17(金)まで

与謝野デジタル・フォトクラブの写真展です。撮影の技法にメンバーそれぞれの個性がひかる作品展です。

与謝野町役場

☎ 43-9000 (代表)

総務課

☎ 43-9010

防災安全課 ☎ 43-9011

商工観光課 ☎ 43-9012

会計室 ☎ 43-9013

建設課 ☎ 43-9014

企画財政課 ☎ 43-9015

加悦庁舎

☎ 43-9001 (代表)

税務課

☎ 43-9020

福祉課 ☎ 43-9021

保健課 ☎ 43-9022

農林課 ☎ 43-9023

子育て応援課 ☎ 43-9024

教育委員会 学校教育課 ☎ 43-9025

教育委員会 社会教育課 ☎ 43-9026

議会事務局 ☎ 43-9027

CATVセンター ☎ 43-9028

野田川庁舎

☎ 43-9002 (代表)

住民環境課 ☎ 43-9030

上下水道課 ☎ 43-9031



地域おこし協力隊通信⑬

道の駅エリア担当 江種里榮子隊員 商工観光課 ☎ 43-9012

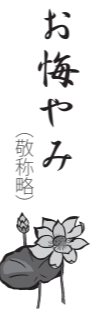
地域おこし協力隊員の江種里榮子(エグエグ)です。与謝野町には、天橋立の内海・阿蘇海へと注ぐ野田川があり、その野田川へ山々からいくつもの川が流れ込み、流域ひとつをまるまる抱えた加悦谷平野があり、ひとつの町がひとつの流域を抱える希少な土地です。昨年開催された「木の駅連続講座」を機に、今年森林や里山暮らしに関心を寄せて毎月第3木曜日の定例会を開きながら、自分たちで出来ることからやっていこうと木の駅プロジェクト「よさの三四の森の会」が始まりました。

よさの三四の森の会では、森林や木の価値を見直し技能・知識を学び深めながら、森林整備等を通して山(水源の森)を元気にし、木の有効な使い途や森林や木の

介してお金が回る仕組みを考え、人の輪をつくっていく。そして自然に対する気持ちや山から川、海までを意識した流域の豊かな暮らしを育む。大江山連峰と阿蘇海の恵みで山も人も元気になる「わが故郷 与謝野町」を目指しています。よさの三四の森の会の「三四」は、森へのお供えの三と四に由来します。キコリが伐採する前に、三本の線と四本の線を刻んだ斧を樹にたてかけて、山の神が与えた樹木(他の生き物も含めた命)を使わせて頂くことへの伐採の許可、作業の安全を祈り、感謝する行為があり、三本の線には、ミキ(お神酒) また『水』の意味があり、四本の線には、ヨキ(四つの気:太陽・土・水・空) また清めの『塩』の意味が込められています。

自然や森への畏敬・感謝の念を大切にして、森を育み、森と木と共に生きることを希求する会として「よさの三四の森の会」という名前になりました。よさの三四の森の会では、切り出した木から椎茸づくりにも取り組もうとしています。地産地消! 地元の中から出た木に、椎茸菌を打ち込み、地元で戴く。この、山のめぐみのプレゼント、収穫のたのしみを共有しませんか? ① シイの木とクヌギの木に椎茸の菌を打ち込む。② 椎茸が収穫時になったら、よさの三四の森の会よりメールにてご連絡します。③ おおよそ頭を出し始めて

町内に配布している 広報誌には掲載しています



与謝野町立加悦中学校改築工事 新校舎が完成しました!

学校教育課 ☎ 43-9025



加悦中学校新校舎

12月10日、改築事業検討委員ら出席のもと、加悦中学校新校舎の内覧会が開催されました。旧校舎は、昭和41年3月に建築されて今年で50年になりますが、老朽化が進行しており、耐震診断において危険な状態でした。平成23年度から改築事業検討委員会の検討などを経て、平成26年10月から改築工事に着手し、平成28年10月31日に新校舎が完成、11月7日から学校としての使用が開始されました。

宮津税務署からのお知らせ

確定申告の地区相談会場のご案内
所得税および復興特別所得税の確定申告書の書き方などの相談を無料で行います。宮津税務署は、駐車場が狭く、申告会場は大変混雑します。混雑の状況により、長時間お待ちいただく場合があります。申告相談される方は、後日(1月25日以降) 配付します「税務特集号」をご覧の上、是非、近隣の確定申告の地区相談会場へお越しください。なお、事業所得や不動産所得を申告される方は、事前に青色申告決算書(または収支内訳書)を作成し、昨年分をご持参の上でご相談ください。
※ 地区相談会場には、税務署職員は従事しておりません。相談は税理士等がお受けします。

Table with 2 columns: 所得税および復興特別所得税と贈与税, 個人事業者の消費税および地方消費税. Includes dates 3月15日(水)まで and 3月31日(金)まで.

振替日 所得税および復興特別所得税 4月20日(木) 消費税および地方消費税 4月25日(火)
現金で納付される場合は、納期限までに現金に納付書を添えて、お近くの金融機関(日本銀行歳入代理店)または住所地等の所轄の税務署の納税窓口で納付してください。
また、e-Taxを利用すれば自宅や事務所などからインターネット等を利用して電子納税することができます。
その他、振替納税は、「預貯金口座振替依頼書兼納付書送付依頼書」を提出していただくだけで、ご指定の預貯金口座から振替日に自動的に納税が行われます。納税のために金融機関または税務署に向向く必要もなく、預貯金残高を確認しておくだけで納付手続を済ませることができる、大変便利で確実な納付方法ですので、是非ご利用ください。
※ 土・日曜・祝日は、宮津税務署では相談および申告書の受付を行っておりません。

功績・功労をたたえて

●旭日単光章
小池 忠四郎さん
こいけ ちゅうしろうさん

小池忠四郎さん（上山田）は、昭和62年4月に野田川町議会議員に初当選されて以来、平成11年4月までの3期12年にわたり在職され、野田川町議会産業常任委員会委員長等の要職を歴任されました。また平成10年10月から半年間にわたり野田川町議会議長として円滑な議会運営に尽力され、町政並びに地方自治の発展および住民福祉の向上に多大な貢献を果たされました。



●公平委員会制度65周年記念
総務大臣表彰

坂根 功三郎さん
さかね こうさぶろうさん

植田 宗一さん
うえだ むねかずさん

坂根功三郎さん（石川）は、

平成15年8月に旧野田川町公平委員会委員として、また植田宗一さん（算所）は、平成16年4月に旧加悦町公平委員会委員として委嘱され、合併後も引き続き、現在に至るまで12年以上の永きにわたり公平委員を務められています。また坂根さんは平成18年7月から与謝野町公平委員会委員長として在職されています。

両名とも、職員の給与や勤務時間などの勤務条件に関する措置の審査、判定を行う公平委員会において、長年、職員の公正な人事の保障など、その活動に尽力され、人事行政に大きく貢献されました。



中学生の活躍



武藤 理恵瑠さん

●重量挙げアジアユース選手権大会
銅メダル
武藤 理恵瑠さん（橋立中）

平成28年11月11日に東京で開催された重量挙げアジアユース選手権大会で日本代表として出場した武藤さんが、スナッチ、ジャークの総合成績で銅メダルを獲得しました。今大会では各国から出場する高校生選手などに混じり、スナッチでは銀メダル、ジャークでは4位入賞の成績を収めました。11月28日に塩見定生教育長を表敬訪問し、結果報告を行いました。武藤さんは今大会の様子や頑張ったこと、至らなかつた点などを話され、塩見教育長から「素晴らしい成績おめでとうございます。まだまだ中学生で若いので、これからますます成長すると思います。2020年の東京オリンピック出場を目指して頑張ってください」と祝福と激励の言葉が送られました。

町民の活躍



丹後ブロックチームメンバー

●第39回府民総体マスターズ女子ソフトボール大会優勝
丹後ブロックチーム

平成28年10月23日に日吉運動公園（南丹市）で開催された「第39回府民総体マスターズ女子ソフトボール大会」において、与謝野町、京丹後市からなる丹後ブロックチームが見事優勝を果たされました。
与謝野町からは、木村広美さん、青木優子さん、倉橋季加子さん、西村淳子さん、千賀由香さんが出場されました。青木さんは「これまで同じチームとして試合をすることのなかつた選手同士が、9月から週に1回、今大会に向けて練習を重ねてきた成果が出せた。連覇に向けて、今後は各々のチームで練習に励み、来年に臨みます」と力強く話してくれました。

企画財政課 ☎43・9015

「1丁でも町長室」の開催

住民の方と意見交換等交流の場とし、町政やまちづくりに反映させることを目的とします。

日時 1月31日（火）正午～午後1時半

場所 岩滝保健センター

テーマ 町政全般について

内容 ランチミーティング形式で

きたんのない意見を伺います

※要望や陳情の場ではありません

対象 町内に在住または在勤する

方で構成された団体・個人

※申し込み多数の場合は先着順

参加費 無料※弁当持参

☎ 1月27日（金）午後5時までに企画財政課へ電話またはメールで kikkuzaisei@town.yosano.jp

☎43・9026

リベラルアーツ推進事業（第10回

講座）のお知らせ

テーマ 宗教について

講師 杉岡孝紀氏（龍谷大学農学部植物生命科学科教授）

日時 1月21日（土）午後1時半

場所 知遊館

受講料等 入場無料 事前申込不要

上下水道課 ☎43・9031

積雪時の水道メータ検針ご協力のお願い

積雪により水道メータの検針が困難になることがありますので、水道メータおよびメータボックス周辺の除雪にご協力ください。検針が困難な場合は、過去の使用水量を参考に水量を認定しますのでご了承ください。

水道管の凍結や破損防止のお知らせ

厳しい寒さになると、「屋外でむき出しになっているところ」「建物の北側にあるところ」「風あたるの強いところ」にある水道管は注意してください。

●防寒方法 水道管がむき出しになっているところは、保温材などを巻き付けてください。毛布などを使う時は、上から「ニール」などを巻き、濡れないようにしてください。

●凍結した時 水道管にタオルなどをかぶせ、上からゆつくりとぬるま湯をかけてください。※直接水道管に熱湯をかけると破裂する恐れがあります。

●破裂した時 メータボックス内にある止水栓を閉めて水を止め、

与謝野町の指定工事業者に直接修理を依頼してください。

償却資産の申告はお済みですか？

町内に固定資産税の対象となる償却資産（自己の使用するものだけでなく、他人に貸し付けているものも含む事業用資産）を所有されている方は、毎年1月1日現在における所有償却資産の申告をしていただくことになっています。該当する方は、申告書の提出をお願いします。

なお、太陽光発電設備についても発電量10KW未満の住宅用設備を除いて固定資産税の課税対象となりますので、設置された場合には必ず申告をお願いします。

提出期限 1月31日（火）

税務課・保健課・福祉課

「今月の納税」のお知らせ

1月31日（火）は町府民税（第4期）、国民健康保険税（第8期）、介護保険料（第8期）の納期限です。1月20日頃までに国民健康保険税および介護保険料に係る納付書を送ります。

※納税には便利な口座振替をご利用ください。

与謝野町の取り組みについて

与謝野町が実施している事業等の最新情報は下記 URL の Web サイトでご案内しています。※携帯端末からは、QRコードを読み取っていただくことで Web サイトにアクセスしご覧いただけます。



■与謝野ブランド戦略
<http://yosano-branding.jp>



■織りなす人
<http://yosano-weaver.jp>



■よさのワーキングステイ・トライアル
<http://kyoto-iju.com/yosano-wst2016/vol3>

ふるさと納税については、町からの案内のほかに下記 URL の Web サイトからもご確認いただけます。



■与謝野町ふるさと納税（株式会社さとふる）
<https://www.satofull.jp/town-yosano-kyoto>



YOSANO
WORKING STAY
TRIAL

短期滞在型移住プログラム

よさのワーキングステイ・トライアル 始動!

与謝野町で人と生活、仕事が密接につながり「営む暮らし」に出会う14日間をコンセプトに、手仕事に興味のある移住希望者を対象に「農業」「染織」「酒造り」を通して「よさの暮らし」を体感できるプログラムを与謝野IJU戦略の一環として取り組んでいます。本プログラムは、移住・定住対策はもちろんのこと、町内の職人の技や知識を受け継ぐ担い手を確保することも目的の一つとしています。

10月4日から13日間、有限会社あつぷるふぁーむで農業体験研修としてプログラムに参加した吉村さん。体験研修を通じて農業の面白さや大変さを学ぶとともに生活の面では、若手農家との交流やシーカヤック体験、地域のバスケットボールサークルに参加するなど、精力的に与謝野町での暮らしを楽しまれた様子でした。



11月21日から14日間、柴田織物で染織体験研修のプログラムに参加した今井さん、織茂さん、松宮さん。ほとんどの時間を工場で過ごし、半衿やおびあ帯揚げのデザインから、機織りや染色、東京での展示会販売まで、すべての工程を体験するハードなスケジュールながらも、充実した暮らしを送られていました。参加者からは「生活と仕事、人の良さを感じ、与謝野町が大好きになった」、「生活の中に仕事があることがあまりイメージできなかったけど、体験を通じて実感できた。不思議な感覚」、「テキスタイル関係で働きたくて、就職活動の一環として来た部分もある」などの声をいただきました。



第3弾は1月20日から14日間、与謝娘酒造で醸造体験研修を実施する予定です。酒造りや農業に興味のある方々が、本町に短期滞在しながら「よさの暮らし」に触れられます。参加者を見かけられましたら、ぜひお気軽にお声がけください。

※詳細情報は、お知らせページでご案内の「よさのワーキングステイ・トライアル Web サイト」でご確認いただけます。

1. 染織体験研修に参加した3名(右から松宮さん、織茂さん、今井さん)と柴田織物の柴田祐史さん(左)による記念撮影
2. 染織体験研修の染色体験の様子
3. 農業体験研修の有害鳥獣対策プログラムの一幕
4. 額に汗を流しながらピーマンを収穫する吉村さん
5. (有)あつぷるふぁーむの中谷忠史さん(左)から農法について説明をうける吉村さん

